

1. 序論:

日本の文字は、漢字、ひらがな、カタカナ、とロマジである。

漢字は日本人には大切なものである。森山（1996：8）による、日本人文字は日本で「和製漢字」。この研究中心は漢字にある「糸」と言う部首を意味して述べる。熟語とは二つ以上の単語が複合して出来た言葉。研究文献は、その分の中にある熟語を取って意味的を吊することである。この研究の項目は、

①漢字は留学生にとってたいへん難しい科目と思う。②漢字の部首は意味を持っているからである。③「糸」という部首はどんな意味を持っているかを知りたいである。

2. 本論:

いろいろデータの中に次の例を見て、まず:

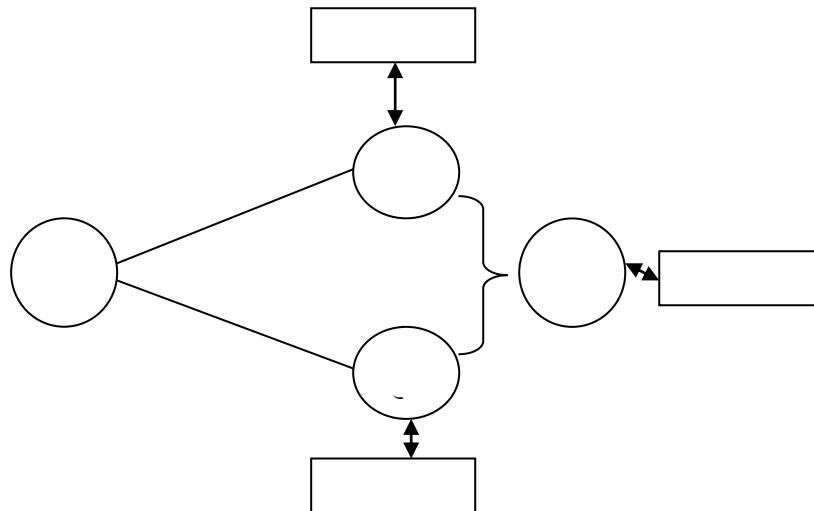
「糸」の部首にある一つの漢字である。たとえば:

「絵本」にある「絵」

この漢字のなりたちは「糸」と「会」で、ひとつひとつの意味を持っている。その漢字は「いと」と言う意味と「あう」である。「糸」と関係がある意味はないのですが歴史に見ますとその「絵本」にはありますが分権のおもに詳しく説明してないのである。その「絵本」を見ますと本の意味があっても全体の熟語には「糸」と関係がないのである。大体の文献には次のチャートに説明する。

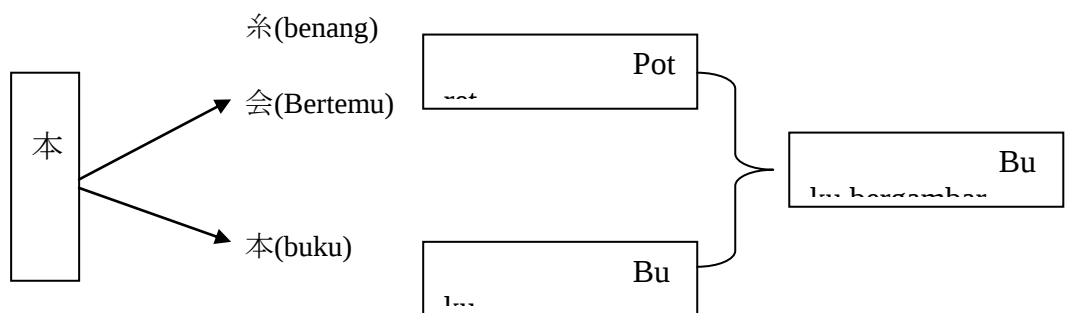
次のチャットの見てください。

a. Kanji 絵 (Kai)



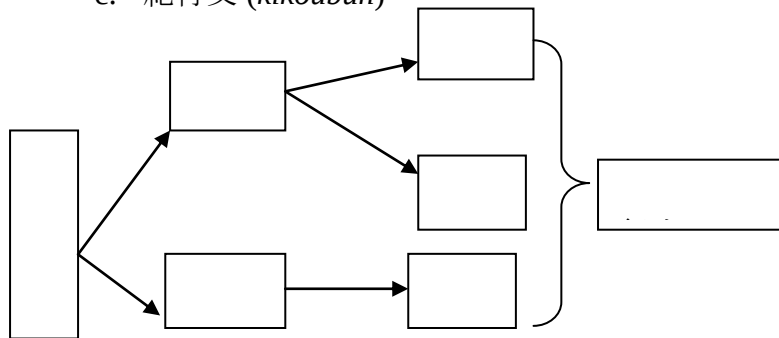
Kanji diatas bukan merupakan jukugo tetapi kanji tunggal yang menurut saya mempengaruhi makna.

b. Kanji 絵本 (ehon)



次回は熟語の第三漢字の中で「紀行文」の意味は上記のように「糸」と言う部分の意味はほかの「行文」には関係がないのである。その「行」と「分」を意味しても関係がないのである。
次のチャットで説明する。

c. 紀行文 (*kikoubun*)



3. 結論:

- a. 色々な漢字があって、同じ部首を付けても、意味がちがっている。
- b. 熟語にある二番目と第三漢字の中で糸の部首と漢字は関係がないである。
- c. 「糸」の意味は糸だけでなく、「関係」にも意味ができてい

DAFTAR ISI

LEMBAR PENGESAHAN.....	i
KATA PENGANTAR	ii
DAFTAR ISI	v
BAB I PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Masalah	1
1.2 Rumusan Masalah.....	6
1.3 Tujuan Penelitian	6
1.4 Metode dan Teknik Penelitian	6
1.5 Organisasi Penulisan.....	7
BAB II KAJIAN TEORI	
2.1 Huruf Kanji.....	8
2.2 Pembentukan Kanji.....	9
2.2.1 Shookei Moji	10
2.2.2 Shiji Moji.....	10
2.2.3 Kai'I Moji.....	10
2.2.4 Keisei Moji.....	10
2.2.5 Tenchuu Moji	10
2.2.6 Kasha Moji	10
2.3 <i>Bushu</i>	11
2.3.1 Hen.....	12
2.3.2 Tsukuri.....	13

	2.3.3 Kanmuri.....	14
	2.3.4 Ashi.....	15
	2.3.5 Tare.....	15
	2.3.6 Nyoo	16
	2.3.7 Kamae.....	17
	2.4 Ito Hen	18
	2.5 Jukugo.....	21
	2.5.1 Konstruksi kanji tunggal.....	21
	2.5.2 Konstruksi jukugo dua kanji.....	22
	2.5.3Konstruksi jukugo tiga kanji.....	22
	2.6 Rangkuman Teori	23
BAB III	ANALISIS JUKUGO KANJI YANG MENGGUNAKAN	
	BUSHU ITO (糸).....	24
	3.1 Makna Ito dalam kalimat	24
	3.2 Makna yang muncul pada kanji tunggal.....	25
	3.3 Makna yang muncul pada jukugo kanji.....	34
	3.3.1 Jukugo kanji dua kosa kanji.....	34
	3.3.2 Jukugo kanji tiga kosa kanji	41
	3.4 Rangkuman analisis	45
BAB IV	KESIMPULAN.....	46
	SINOPSIS	viii
	LAMPIRAN	xiv

DAFTAR PUSTAKA	xxi
RIWAYAT HIDUP PENULIS	xxii